

文化財観光施設を活用した歴史体験実証実験 実施報告書

(令和元年 11 月 8 日・9 日実施)



令和元年 12 月 18 日

文化財観光施設を活用した歴史体験検討委員会

(大洲市・大洲市観光まちづくり戦略会議)

(目 次)

1	実証実験名称	P 1
2	日時・場所	P 1
3	趣旨・目的	P 1
4	実施主体等	P 2
5	参加者等	P 2
6	プログラム	P 4
7	各シーンの紹介	P 5
	(1) 開会セレモニー	P 6
	(2) 加藤貞泰入城シーン	P 7
	(3) 城内案内シーン	P 1 0
	(4) 伝統芸能シーン	P 1 1
	(5) 夕食説明シーン	P 1 2
	(6) 夕食シーン	P 1 4
	(7) インタビューシーン	P 1 5
	(8) 月見シーン	P 1 6
	(9) 城泊シーン	P 1 7
	(1 0) 朝食シーン (臥龍山荘)	P 1 8
8	実証実験に係る成果等	P 2 1
	(1) 実施内容の確認	P 2 1
	(2) 法令及び安全性の確認	P 2 4
	(3) メディアへの P R 等	P 2 8
9	実証実験に係る事業費	P 3 3
1 0	運用開始について	P 3 3
1 1	城下町分散型ホテルについて	P 3 4
1 2	大洲城について	P 3 5
1 3	官民連携事業について	P 3 6
1 4	実証実験に係る問い合わせ先	P 3 6

1 名 称

文化財観光施設を活用した歴史体験実証実験

- ・大洲城での城主体験「1617 年加藤貞泰の入城」
- ・臥龍山荘での主賓体験「朝のもてなし」

2 日時・場所

- ・日時 令和元年 11 月 8 日（金）16 時 40 分 開会セレモニー
17 時 00 分 実証実験（大洲城）
11 月 9 日（土）07 時 00 分 実証実験（臥龍山荘）
- ・場所 大洲城 愛媛県大洲市大洲 903 番地
臥龍山荘 愛媛県大洲市大洲 411 番地 2

3 趣旨・目的

本事業は、文化財観光施設の来訪者に対し、一般公開のみならず、歴史に基づいた特別な体験を提供し、特別な料金を得ることにより、持続可能な文化財保全・整備環境を創出するとともに、本来文化財がもつ価値を最大限に発揮することにより、さらなる認知度の向上を図っていかうとするものです。この取り組みを契機に、将来の人口減少期においても持続可能な官民連携による文化財観光施設の整備環境を整えてまいります。



▲ 大洲城天守と重要文化財の櫓

また、本市では、大洲城ならびに城下町に残る町家・古民家等の歴史的資源を活用した観光産業の確立に向けた事業を推進しており、まちづくりに重点を置いた持続的な地域経済循環と経済波及を促進していくことを目指しています。

今回の実証実験は、大洲城及び臥龍山荘の文化財としての価値の担保や構造的な安全性、防災面・衛生面の安全性などの確認、地域住民の皆様への理解を深めていただく機会を提供することを目的としたものです。

4 実施主体等

(1) 主 催

大洲市／大洲市観光まちづくり戦略会議／文化財観光施設を活用した歴史体験検討委員会

(2) 共催・協力等

(一社) キタ・マネジメント、大洲歴文会、バリューマネジメント (株)

5 参加者等

(1) 参加者 174人 (実績) * 報道機関・主催者含む

主賓・国等	17 人	一般観覧	22 人
市議会、委員等	25 人	報道機関	24 人
法令検査機関	7 人	主催者・協力団体等	79 人

(2) 来賓・視察者等

肱川あらし観光大使	歌手 伍代 夏子 様
大洲市議会	議長 山本 光明 様
内閣府地方創生推進事務局	審議官 辻 庄市 様
観光庁観光地域振興部観光資源課	課長 河田 敦弥 様
経済産業省四国経済産業局地域経済部	部長 吉岡 勝彦 様
国土交通省四国運輸局観光部	部長 渡眞利 諭 様
株式会社伊予銀行地域創生部	部長 高岡 公三 様
一般社団法人せとうち観光推進機構	ホワイ特美佳 様

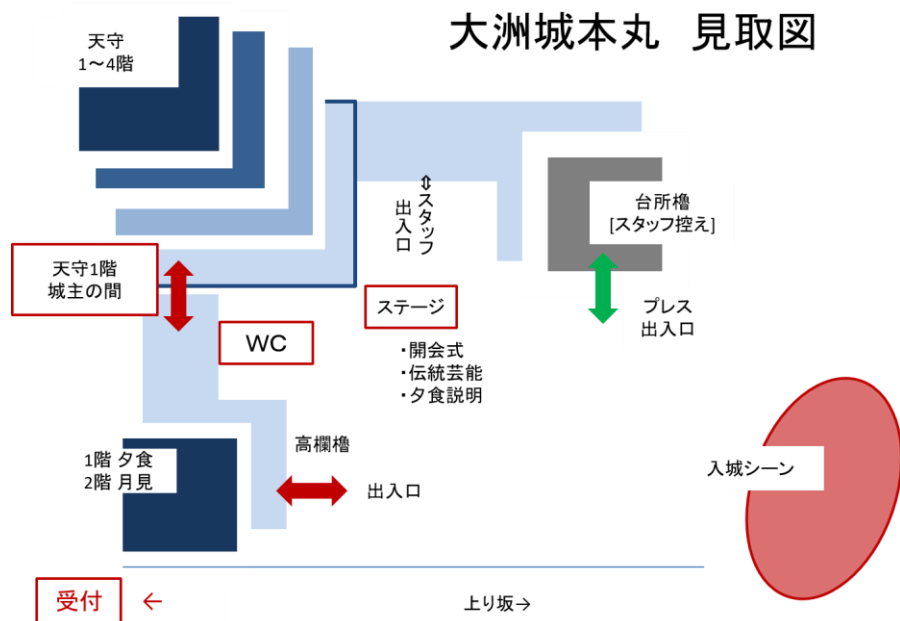
(3) 関係者及び地域住民等

大洲市議会議員、大洲市観光まちづくり戦略会議委員、文化財観光施設を活用した歴史体験検討委員会委員、城山区住民、一般観覧参加者など



6 プログラム

時 間	内 容
16 時 00 分	受付
16 時 40 分	開会 ・挨拶 大洲市長 二宮隆久 主 賓 伍代夏子 様 内閣府地方創生推進事務局 審議官 辻 庄市 様 観光庁観光地域振興部観光資源課 課長 河田敦弥 様 ・来賓紹介
17 時 00 分	加藤貞泰入城 ・加藤貞泰役が乗馬にて入城、大洲藩鉄砲隊演武 など
17 時 30 分	城内案内 ・主賓の伍代夏子さんを城内案内
18 時 00 分	伝統芸能 ・河辺鎮縄神楽披露（山鳥坂鎮縄神楽保存会）
19 時 00 分	夕食 ・伍代夏子さん、大洲市長ほか
19 時 15 分	インタビュー ・伍代夏子さんほか
19 時 30 分	終了 （～報道取材は引き続き実施）



7 各シーンの紹介（報道・メディア用）

（１）開会セレモニー

- ・ 時間 16 時 40 分
- ・ 場所 本丸ステージ前
- ・ 司会 RNB南海放送 作道泰子
- ・ 挨拶 大洲市長 二宮隆久
主 賓 伍代夏子 様
内閣府地方創生推進事務局 審議官 辻 庄市 様
観光庁観光地域振興部観光資源課 課長 河田敦弥 様
- ・ 来賓紹介



大洲市長 二宮隆久



主賓 伍代夏子 様



内閣府地方創生推進事務局
審議官 辻 庄市 様



観光庁観光地域振興部観光資源課
課長 河田敦弥 様

(2) 加藤貞泰入城シーン

- ・ 時間 17 時 00 分
- ・ 場所 大洲城本丸
- ・ 概要

1617 年 8 月、米子から加藤貞泰が入城。当時、貞泰は 37 歳。
大洲城には陸路、馬で入ったとの記録があります。
法螺貝の合図と陣太鼓の拍子に合わせ、甲冑姿の加藤貞泰が乗馬により入城。幟隊による歓迎の旗振りと、鉄砲隊による祝砲で迎えました。
伍代夏子さんには城主証を手渡しました。



・配役

貞泰役には、大洲城を管理する大洲歴文会職員の柿見陽介氏（32歳）を抜擢。約1カ月乗馬クラブに通い、練習を重ねこの日を迎えました。大洲藩鉄砲隊員としても活躍中です。

入城を指揮したのは、大洲藩家老大橋清兵衛役の三瀬範芳氏（34歳）。三瀬氏は、市公認の観光まち歩きガイド「おおず歴史華回廊案内人」として活躍しています。古地図を見ながら大洲城を案内する特別コースを自ら考案するほど大洲城に詳しい知識を持ちます。また、三瀬氏が城下町で経営するゲストハウスは外国人にも人気の宿で、インバウンド対応にも慣れてしています。

出迎えたのは大洲藩鉄砲隊と幟隊でした。鉄砲隊は、今年結成5年目を迎えました。日頃は大洲城での演武だけでなく、各地に招待され実演を行っています。今回8名の隊員により祝砲を放ちました。

また、幟隊は、観光列車「伊予灘ものがたり」への大洲城の旗振りからヒントを得たものです。歓迎の証として5名の隊員が幟旗を振って出迎えました。隊員は、日頃からまちづくりに取り組む市民若手有志の方々です。今後、市民参加型のスタイルとして確立していく予定です。

・その他

今回の入城シーンは「城主を見る」体験でした。今後、お客様のニーズに合わせ、自らが「城主になる」体験も用意していきたいと考えています。



入城シーンシナリオ

大洲城での城主体験

「一六一七年の加藤貞泰の入城」(仮称) 実証実験

○大洲城本丸に向かう坂 (夕)

馬上の加藤貞泰と馬曳き

入城を待つ

○本丸 (同)

家老、先んじて天守に入り、貞泰の到着を待つ

○本丸 (同)

陣太鼓 (お触れ)

家老「殿が城入りなさるぞー」

法螺貝の音

陣太鼓 (お成り拍子) が鳴り響く

幟隊の旗振り (拍子に合やす)

○坂

貞泰「さて、参るか」

貞泰、馬曳き本丸に進む

○本丸 (同)

陣太鼓、幟隊の旗振り

鉄砲隊整列し、準備

貞泰本丸到着 ^写真撮影V

陣太鼓 (お成り拍子) やめ

旗振りやめ

貞泰下馬

馬曳き、早々に退却

家老、貞泰に近寄り跪く

家老「殿、ご無事で平穩にて候成り」

貞泰「米子の地から、大洲に参った。一同、出迎え、大義である」

全員「はっ。」

○同、本丸

隊長、鉄砲隊に向かい号令

隊長「皆の者、殿の入城じゃあ。祝砲を放つぞ」

鉄砲隊「おー！」

鉄砲隊、陣形をとり、準備

貞泰「放て！」

貞泰の合図とともに発砲

○本丸 (同)

貞泰「一同、大義。さて入城ばかりでは油断ならぬ。」

「それがしも天守にて、城を固める所存。」

「皆の者は抜かりなく、陣がまえを頼む。」

ゲストの伍代夏子様に向かう

貞泰「お主、これまでのところ、見ておったであらう」

「これより先、それがしの代わり、影武者として、この城を共に守ろうぞ。」

伍代様「はっ。」

貞泰、家老を向かう

貞泰「大橋よ、あの者に、それがしの代わりとして、城主の証を授ける。」

家老「はっ。」

(家老、バトラーから城主証を受けとる)

家老、貞泰に城主証を手渡す (貞泰は伍代様の前へ)

伍代様に向かい、城主証の読み上げ。

貞泰「城主証。伍代夏子殿。」

「貴殿を、大洲城の一日城主として任命する。」

「令和元年十一月八日 大洲藩主 加藤貞泰。」

伍代様、城主証を受け取り一礼。メディアに向き、見せる。

(城主証は、バトラーが預かる)

○本丸 (同)

ゲスト伍代様の動きを見て、天守へ(高欄櫓から)

貞泰「これにて準備は整った。さて、大洲城を案内せい。」

家老「はっ。」

貞泰、天守に向かい堂々と進む

伍代様・市長以下、一同(山本議長・城戸会頭・辻審議官・河田課長)それに続く

(3) 城内案内シーン [報道・メディアのみ]

- ・ 時間 17 時 30 分
- ・ 場所 大洲城内 * 天守 1 階がメインとなります
- ・ 概要

家老の大橋清兵衛役が城内を案内しました。

天守 1 階では、古地図を広げて大洲城の縄張りを案内しました。

- ・ 案内を受ける皆さん

伍代夏子さん

大 洲 市	二宮 隆久	市長
大洲市議会	山本 光明	議長
商工会議所	城戸猪喜夫	会頭
内 閣 府	辻 庄市	審議官
観 光 庁	河田 敦弥	課長



(4) 伝統芸能シーン

- ・ 時間 18 時 00 分
- ・ 場所 本丸ステージ
- ・ 概要

県指定無形民俗文化財「河辺鎮縄神楽（かわべしめかぐら）」を披露しました。

大洲城で地域の伝統芸能に親しんでいただく機会としました。

【山鳥坂鎮縄神楽保存会】

神楽そのものは、享保 2 年（1716）に文献が残り、それより以前にあったとされています。保存会は、昭和の初め頃に設立されました。昭和 45 年 3 月に愛媛県民俗無形文化財に指定。平成 10 年にロンドン公演、15 年に東京・大阪公演に参加するなど市内の各種行事だけでなく、全国、世界で幅広く活躍されている市内屈指の伝統芸能です。

今回は、主演目の「大蛇退治」のシーンを披露しました。



(5) 夕食説明シーン

- ・ 時間 18 時 45 分
- ・ 場所 本丸ステージ
- ・ 概要

バリューマネジメント株の石井之悠シェフによるディナーメニューについての説明の時間を設けました。ステージ上で、料理や食材などの解説をしました。



【石井之悠（いしい しゅう）シェフ】

スイスのグランメゾンで活躍し、帰国後神戸元町でラ・ピエール・ジパングを開業。

ミシュランと並ぶ2大レストランガイド「ザガットサーベイ」では、神戸エリア料理部門で4年連続1位を獲得し、優れた料理人に贈呈される「ディシプル・オーギュスト・エスコフィエ」の荣誉称号を持つ、関西フレンチの次代を牽引するフランス料理界の巨匠。

メニュー等

当日は、瀬戸内の魚貝や大洲産地元野菜、伊予牛、大洲米など当地域の食材を使った料理が披露されました。

また、食器には大洲藩の焼き物「砥部焼」を使用しました。

- ・ 先付：大洲産地元野菜のガルグィユ
- ・ 前菜：瀬戸内の鮮魚マリネと愛媛産キャビアをお好きなだけ
- ・ 作り：みかん鯛とミカン（柑橘みぞれ造り）
- ・ 椀物：瀬戸内の底物魚介のうしお仕立て
- ・ 焼き物：釣りアナゴのてんぷらとサザエの甘煮
- ・ 強肴：伊予牛フィレ肉杉板焼きシンプルなスタイルで
- ・ お食事：大洲米と芋煮と香の物
- ・ 水羊羹：いよかん（柑橘）と養老酒造の日本酒のゼリー寄せ



(6) 夕食シーン [報道・メディアのみ]

- ・ 時間 19 時 00 分
- ・ 場所 高欄櫓 1 階
- ・ 概要

主賓の伍代夏子さんほか、実際に夕食を召し上がっていただきました。重要文化財の保護のため、防災畳により床部分を養生しました。

- ・ 食事をされた皆さん

伍代夏子さん

大 洲 市 二宮 隆久 市長

大洲市議会 山本 光明 議長

商工会議所 城戸猪喜夫 会頭



(7) インタビューシーン [報道・メディアのみ]

- ・ 時間 19 時 15 分
- ・ 場所 天守 1 階 西側廊下
- ・ 概要

報道機関等の依頼により主賓の伍代夏子さん、バリューマネジメント他力野代表などインタビューの時間を確保しました。

- ・ インタビュー

伍代夏子さん

バリューマネジメント(株) 代表取締役 他力野 淳 氏



(8) 月見シーン [報道・メディアのみ]

- ・ 時間 20 時 00 分
- ・ 場所 高欄櫓 2 階
- ・ 概要

高欄櫓は、その名の通り、二階に欄干が配してあり、月見櫓としての機能をもっていたとされます。大洲・内子の銘酒とともに、月見を楽しんでいただく空間を設えました。

報道・メディアの皆様には空間を撮影いただく時間としました。

重要文化財であるため、防災畳により床部分を養生しました。



(9) 城泊シーン [報道・メディアのみ]

- ・ 時間 20 時 00 分
- ・ 場所 天守 1 階
- ・ 概要

天守 1 階では、城泊のシーンを設えます。畳（防災）の上に、マットレス、布団等を配置し、就寝の準備をしました。

周囲は、障子戸を再現しました。障子戸は、宇和島城の仕様を参考としました。

上記月見シーンと同様、空間を撮影いただく時間としました。



(10) 朝食シーン (臥龍山莊)

- ・日 時 令和元年 11 月 9 日 (土) 午前 7 時～9 時 (予定)
- ・場 所 臥龍山莊臥龍院、不老庵
- ・内 容 臥龍山莊での主賓体験 「朝のもてなし」

元々河内寅次郎の別荘であった臥龍山莊は、茶の湯文化を通じた迎賓機能や臥龍院の能舞台の演出、不老庵で月明かりを愛でる月光反射など趣向の凝らした細工が建物としての価値であり、これらを実際に再現していくことが他の地域では叶うことのできない特別な体験を提供することになります。

閉館時間を利用し、臥龍山莊での主賓待遇を再現していくこととします。実証実験では、臥龍山莊臥龍院、不老庵において重要文化財への養生を行いながら、朝食シーンを試行しました。

臥龍山莊でのもてなしについては、今後、茶人の木村宗慎氏の監修を受けながら、朝と夜のシーンの作り込みを行っていくこととしています。



▲臥龍院 養生状況 (赤毛氈・仮設)



▲不老庵 養生状況 (赤毛氈・仮設)

朝食メニュー

- ・ 彩り野菜の花筏仕立て
- ・ 大洲原木椎茸と手掘りあさりのお吸い物
- ・ 瀬戸内天然鯛めし
- ・ 焼き松茸 酢橘を添えて
- ・ 連子鯛の瀬戸内天然塩一夜干し
- ・ 大洲いもたき朝仕立て
- ・ 小鉢八種
伊予牛しぐれ煮
お野菜の白和え
紅白なます
ほうれん草としめじのお浸し
南瓜とそぼろ餡掛け
大浦牛蒡のきんぴら
高野豆腐
- ・ 大洲特産香の物
- ・ 旬のフルーツ盛り合わせ



- ・ 木村宗慎氏 監修アドバイス（令和元年 11 月 20 日）



▲臥龍院での打ち合わせ



▲臥龍院での打ち合わせ

8 実証実験に係る成果等

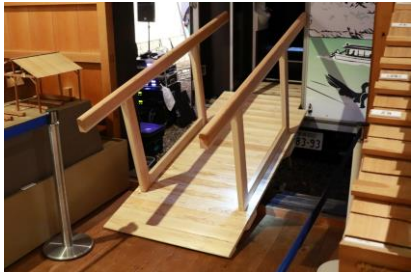
実証実験により、実施内容の確認、法令及び安全性の確認、メディア等へのPR、素材収集等の所期の目的は果たすことができました。

また、実証実験を踏まえ、実施計画を作成することとします。

(1) 実施内容の確認

内 容	確認・対応
【体験メニュー】	
①入城シーン	
城主役の乗馬訓練 	南予ふれあい乗馬クラブの協力により、約1か月間乗馬クラブで乗馬訓練を行った上で実証実験に臨んだ。
曳き馬の急坂の上り下り	路面が滑りやすく、特に下りが課題。乗馬クラブ係員など技術を持った者の対応が必要。
曳き馬の火縄銃の音への反応	火縄銃の発砲音に対して馬の反応を心配していたが、音への反応はほとんどなかった。
台本の確認	配役を行い、リハーサルを行った上で実施した。
大洲藩鉄砲隊の演武	安全確認、スムーズな進行（馬への配慮等）の確認を行った。
②説明シーン	
家老役の説明内容の確認	おおず歴史華回廊案内人がつとめることにより、より詳しい説明が可能となった。
絵図の利用	元禄五年大洲城絵図と正保城絵図を用いた。
③伝統芸能シーン	
河辺鎮縄神楽	演舞のクオリティが高く、視察者等からの評価が非常に高かった。

室内スペースの確認	室内においても、演目を変更して実施可能とすることを確認した。
その他の伝統芸能	実証実験の成果を踏まえ、本格実施に当たり実施可能な市内の伝統芸能を調整する。
【食事メニュー】	
食材の調達 	バリューマネジメント社の石井総料理長が大洲市に3回訪問し、市内の食材視察等を行い、調達を行った。  
食器類の調達 	大洲藩の焼き物である砥部焼を調達するため、石井総料理長が砥部町の視察を2回行った。
メニューの開発 	実証実験に合わせ、メニュー開発を行った。今後、季節に応じた多様なメニュー構成を行っていくこととし、使用する食材等のブランディング「キャスルスステイ選定品（仮称）」を行っていく。

【施設管理】	
備品・什器類の調達 	防災畳、寝具、照明等について運営事業者のバリューマネジメント（株）が調達を行った。 
障子戸の調達 	天守 1 階部分に障子戸の復元を行った。復元に当たっては近隣の宇和島城天守を視察し、仕様の参考とした。障子戸の製作は、大洲城復元に携わった地元業者が担当した。運営事業者のバリューマネジメント（株）が調達を行った。
トイレカーとの接続 	トイレカーと西多聞の接続のため、木製の接続橋を設置した。関係機関から安全面の指摘があり、トイレカーとの接続方法については、再検討を行うこととした。
展示品の移動 	天守 1 階、多聞櫓など展示品の移動を行った。天守が復元されてから 15 年が経過するなかで、復元当初の展示指針と異なる状況、経年劣化も見られ、展示内容の再検討が必要であるため、今後内部展示の見直しを図ることとした。

電気設備検査 	10月31日に発生した首里城の火災において、分電盤からの配線及び延長コードのショートが原因と考えられることから、急遽指定管理者において、分電盤及び配線の検査を行った。外部用のケーブルにおいて、経年劣化がみられることから交換を行うこととした。
---	---

(2) 法令及び安全性の確認

実証実験においては、これまでの法令関係機関との協議を踏まえ、現地立会を依頼し、状況の確認をお願いしました。

なお、構造及び防火の安全対策は、「大洲城の構造安全性及び防火安全性に関する検討報告書（平成13年3月財団法人日本建築センター）」をもとに、対策をとることとしました。

*平成31年2月12日 第2回愛媛県建築審査会において、活用方法について内容を説明し、支障ない旨を確認。

① 現地立会機関

機関名	立会者数	関係する法令等
愛媛県建築住宅課 八幡浜土木事務所	1人	建築基準法等
大洲消防署	3人	消防法等
愛媛県業務衛生課 八幡浜保健所	3人	旅館業法、食品衛生法等

② 立会対応

機関名	役職	氏名
大洲市観光まちづくり課	専門員	村中 元
大洲歴史文会	総支配人	田苗 勉
一社キタ・マネジメント	事業課長	井上 陽祐
バリューマネジメント(株)	ゼネラルマネージャー	池上 順一

③ 主な指摘事項と対応方針

- 構造関係（愛媛県建築住宅課・八幡浜土木事務所）

なし

○ 消防関係（愛媛県建築住宅課・八幡浜土木事務所・大洲消防署）

【防火】

・延長コードの使用による漏電対策について

→基本的には漏電対策については、漏電ブレーカーにより対応。照明器具については、充電式のものの使用も検討中。延長コードを使用する場合は、事前に漏電チェックを行うこととします。

なお、今回、電工業者立ち合いのもと、合わせて分電盤の確認を行いました。外部用のケーブルが15年経過し老朽しているため、交換することとしました。

・チェックイン時の火器類の預かりについて

→一般公開時においても火器類の持ち込みは禁止されており、お持ちの方を発見した場合には、お預かりをさせていただいております。今回、禁止している宿泊者の喫煙が最も心配されますが、事前の誓約書等の書面により、喫煙及び火器の持ち込みを禁止していくこととしています。

・初期消火対策について（定期訓練時にバトラー等スタッフの参加を検討）

→定期訓練時（直近1月）において、バトラー等のスタッフも参加し消火訓練等を行うこととします。また、日中だけでなく、夜間時の訓練についても行うこととします。

【避難】

・トイレカーの設置位置について（屋外出口を塞ぐような設置になっており設置位置について再検討）

→設置位置については再検討し3m以上の延焼ラインを保つこととします。

・天守3階以上での食事について（竪穴区画の不備、階段が急で一つしかないという当時の指摘を踏まえて1階のみの利用とできないか）

→復元当時の検討資料を踏まえて天守1階もしくは高欄櫓の利用とします。

・宿泊者用避難マニュアルの作成について（マニュアルを使って事前説明等を行うことで、ある程度の安全性は確保できると考えられる）

→マニュアルを作成し、事前説明を行うこととします。

・はしご車の活用について（はしご車の到着を待つ可能性は低いと思うが、はしご車の寄り付きスペースと非常用進入窓の位置関係で、はしご車が有効に活用できるか）

→大洲消防署予防課と協議し、消防隊の到着後、3連はしごによる救助

活動を行うとともに、新たに天守 3 階に避難はしごを設置することで対応することとしました。なお、一般公開時においても同様の対応を要するため、消防署と協議の上、「大洲城防災管理マニュアル」を修正することとしました。

・ バトラーの外国語対応について（外国語の堪能な人員を確保できているのか。城主体験は、外国人観光客も想定していると聞いているので日本語だけの避難誘導では不安がある）

→ 全員、外国語対応が可能な人員となります。

・ 施設の夜間、宿泊利用に対応した消防計画書について（消防と協議をして作成すること）

→ 消防と協議しながら、施設管理者（防火管理者）で消防計画を作成することとしていますので、作成後に関係機関等と共有することとしています。

○ 衛生関係（愛媛県業務衛生課・八幡浜保健所）

本事業は旅館業でないため旅館業法は適用されませんが、仮に「簡易宿所営業」とみなした場合の順守すべき「衛生措置基準」及び「構造設備基準」への適合状況について指摘をいただくこととしました。主な指摘事項は以下のとおりです。

【衛生措置】

・ 客室の清掃実施状況について（作業手順書等を整備すること）

→ 日常清掃、当日清掃等について「清掃マニュアル」（作業実施記録含む）を作成し、衛生管理を行うこととします。

・ 便所の衛生措置について（トイレカーの取扱説明書等により適切な管理を行うこと）

→ 上記同様、トイレカーの清掃等についても「清掃マニュアル」（作業実施記録含む）の中で言及し、衛生管理を行うこととします。

・ 寝具管理等について（天日干し、洗濯、保管等適切な管理を行うこと）

→ 上記同様、寝具等の衛生管理についても「清掃マニュアル」（作業実施記録含む）の中で言及することとします。

・ 救急薬剤等について（必要に応じて常備薬等を整備するとともに、緊急時の対応等について作業手順書等を整備すること）

→ 常備薬とともに、緊急時の対応（救急病院の確認等）については通常の一般公開時と同様に対応することとします。

○ 文化財関係（愛媛県教育委員会）

本事業において、重要文化財の改変等を行わないこととしていますが、保存に影響を及ぼす行為に該当するか否か、実証実験の結果を愛媛県教育委員会に報告し、本事業の利用方法については、保存に影響を及ぼす行為に該当しないことを確認しています。



(3) メディアへのPR等

今回の実証実験においては、本格実施に向けたメディア等へのPR及び広報用素材の収集を行いました。

①新聞報道

11月9日付 愛媛新聞

寝室として使用される部屋で、家老役(右)から城内構造の説明を聞く伍代夏子さん(右から2人目)

11月8日夜、大洲城



ぜいたく 大洲城主体験

市など初実証実験 歌手伍代さん参加

神楽堪能 殿様御前に舌鼓

供する事業を進めることで認知度向 御前」を堪能した。

上や地域経済の循環、保全・整備環境の確保などを目指している。CSかな」と思ったぐらい貴重な体験だ。は、2020年4月以降の開始をめぐって。非日常的でぜいたくな時間をどこに準備を進め、運用は市と連携協過ごせるので、日本の若い方にもど定を結んでいるバリウーマネジメンんどん来ていただきたい」と話した。ト(大阪市)が行う。同社によると、想同社などによると、8月9日朝に予定では1日1組(2人以上、年齢・国籍を問わない)限定で、料金は1組100万円から、春と秋を中心に、年間約30日、一般公開終了後の午後5時提供するサービスを考案する。

(薬師神亮太)

大洲市などは8日、大洲城(同市)で翌朝9時までの運営としている。大洲)で食事や宿泊ができる城主体験事業「キャスルス・ステイ(CS)」に扮(ふん)した城の職員が、旗振の実証実験を始めた。ゲストには、川あらし観光大使を務める演歌歌手の伍代夏子さんが招かれ、「河辺鎮縄(しめ) 神楽」など地域の伝統芸能に親しんだほか、城内で夕食を堪能した。

市は、市内の文化財などへの来訪者に、歴史に基づいた特別体験を提で地元野菜などを使った料理「殿様を観覧したほか、国指定重要文化財「高欄櫓(こうらんやぐら)」1階

分気城主泊宿に守天

大洲城 伍代夏子さん体験、PR



笑顔で夕食を楽しむ伍代夏子さん

—大洲市大洲の大洲城で

城に泊まって城主気分を味わえる「キャッスルステイ」の実証実験が8～9日、大洲城（大洲市）であり、市などの関係者がおもてなしや安全面を確認した。来春オープンする予定で、木造天守閣での通年型宿泊事業は日本初。ゲストには演歌歌手で同市の観光大使を務める伍代夏子さんが招かれ、伝統芸能を鑑賞し地元食材を生かした料理に舌鼓を打った。

【中川祐二】

同市は大洲城や城下ステイはその目玉。全町に残る町家などの歴国で歴史的建造物を活史的資源を活用した観用したホテルやレストランを手がける「バリユーマネジメント」（大

阪市）が、春と秋を中心

に年間30日ほど運営する。実験では城の指定管理者「大洲歴史文会」の職員が城主・加藤貞泰に扮し、ほら貝の合図と陣太鼓の拍子に合わせて白馬に乗って入城。幟隊の旗振りや鉄砲隊の祝砲で出迎えられる後、伍代さんに城主証を手渡した。

さよのの当番医

伍代さんは家老役の案内を受けながら寝室となる天守1階を見学。本丸のステージで「河内無形民俗文化財」「河内鎮縄神楽」を楽しんだ後、国重要文化財・高欄櫓で地元食材を

使った夕食を堪能した。

1日1組限定で、1泊100万円以上。伍代さんは「もう少し安くなるとうれしいかな」と苦笑いしつつ、

「非日常的で貴重な体験だった。ぜひたくで豪華な時間を過ごせると思っているのでぜひ体験してほしい」と満喫した様子で話した。実際に宿泊した市職員は「照度が不足しているところがあった。避難通路を確保するためにも明るさが必要」と話し、ライトの増設を検討するとしている。

【四国中央・東部】川関高橋医院【同・西部】相引医院【新居浜】すみ整形外科リハビリ科▽内科・小児科急患センター【西条】急患センター【今治】医師

家臣らが迎える本丸に白馬で入城する城主役（いずれも8日、大洲市の大洲城で）



大洲城

天守に宿泊 殿様気分

市が実験 「1日1組、1泊100万円」

大洲市は2020年4月から、大洲城の天守に宿泊できる「ギャッスルステイ（城泊）」を始める。甲冑姿で白馬に乗って入城し、櫓から月をのぞくなど、城主気分が味わえる趣向だ。1日1組（4人程度）限定で、1泊100万円以上を予定しており、外国人客らの誘致を目指す。

（梶原善久）

高欄櫓で食事など 伍代夏子さん体験



高欄櫓で地元産の食材を使った料理を味わう伍代さん

大洲城天守は4層4階の木造建築。かつては大洲藩6万石の藩主の居城で、明治の廃城令を機に1888年に取り壊されたが、当時の写真や模型などを基に15年前に復元された。

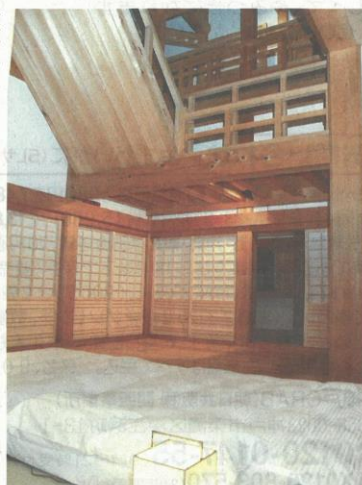
8日には、城の指定管理団体の職員が宿泊体験する実証実験を実施。大洲市の脇川あらし観光大使で歌手の伍代夏子さんが招かれた。

実験では、甲冑姿の城主に扮した職員が白馬に乗って入城し、大洲藩鉄砲隊が祝砲で出迎えた。伍代さんは城主証を受け取り、家老役の案内で城としては珍しい吹き抜けになった内部構造や、城郭の絵図面の説明を受けて往時の城主に思いをはせていた。

本丸では地元産の神楽が上演され、重要文化財の高欄櫓で伍代さんは地元産の野菜や瀬戸内の魚介類を使った食事に舌鼓を打った。

伍代さんは「現実ではない、贅沢な時間が過ごせるので、日本の若い人にもぜひ楽しんでもらいたい」と話した。

開業時には、天守1階が寝室となり、中央部に畳を敷いて障子戸で囲うほか、風呂は、二の丸に設ける。キッチンやトイレは車に対応する。この日の実験では、市職員らが宿



吹き抜けになった天守1階に設けられた寝室

泊し、非常時の経路や誘導灯など防災、衛生面などを確認した。

市によると、市内には城下町の町家や文化財の観光施設が多く残っており、観光産業と経済の振興を目指している。城泊の開業に合わせて別荘として建てられた「臥龍山荘」（重要文化財）の活用も計画する。一方、民間業者は市内の古民家8棟を宿泊施設やレストランに改修している。

城泊は一般公開後の午後5時～翌朝9時で、市は収益金の一部を文化財の観光施設の保全に役立てることにしている。

城泊を運営し、古民家の宿泊事業で実績を持つ「パリューマネジメント」（大阪市）の他力野淳社長（46）は「見るだけでなく活用する事業による経済効果で、街の活性化につなげたい」と話している。

1泊100万円 気分はお殿様

大洲市の大洲城で来春から、天守に一般の人が宿泊できる「キャッスルステイ」が始まる。鉄砲隊による歓迎や伝統芸能の鑑賞、豪華な食事などVIP待遇が受けられ、1組につき1泊100万円から。海外の富裕層などを観光に呼び込むねらいがある。



加藤貞泰に扮した城主役による入城。宿泊客も同様の体験ができる

大洲城で市が来春から「城泊」



歓迎の祝砲を放つ大洲藩鉄砲隊Ⅱいすれも大洲市

市は、中心部の町家や古民家をホテルなどに改修し、城下町を地域の観光拠点として売り出す構想を進めている。キャッスルステイはその「目玉」となる。売りは、城主気分を味わえる体験型イベント。今月8、9日

海外の富裕層ねらい 豪華待遇

にあった実証実験では、大洲藩主・加藤貞泰に扮した城の職員が白馬に乗って入城。大洲藩鉄砲隊による祝砲などで歓迎を受けた。

天守前では、地元の保存会が市の伝統芸能「河辺鎮魂神楽」を披露。国重文の高欄櫓では、肱川あらし観光大使で演歌歌手の伍代夏子さんが、伊予牛や大洲米など地元食材を使ったデイナーを味わった。寢室は天守1階に設けられる。

内閣府や観光庁の担当者も訪れた。政府は「城泊」をインバウンド（外国人旅行者）向けに各地で展開するよう呼びかける。長崎県の平戸城でも来夏から城泊が始まる予定。観光庁の河田敦弥・観光資源課長は「城は外国人に訴求力がある。城下町全体の活性化を図る大洲城が城泊の先進事例になることを期待したい」と話す。

実証実験は、城の価値を損なわずに事業を運営できるかを確かめる意味合いもあった。市と連携協定を結び事業を運営する「バリューマネジメント」（大阪市北区）の他力野淳社長は「お城の姿はそのままの形で後世に残す」と強調。城は改修しない方針で、トイレは専用のト

イレカーを城に横付けする。入浴施設は今後、二の丸を整備する。気温を考慮し、宿泊受け付けは春と秋に年間30日を上限にするという。

「市の象徴」指摘も

現在の4層の木造天守は2004年に再建された。総工費13億円のうち5億2千万円は全国からの寄付でまかなった経緯がある。村上常雄市議は「城はみんなで眺める市の象徴。一部の人がお金を払って好きに使っていいのか」と指摘。「市には次世代に城の価値を伝える教育にも取り組んでほしい」と注文をつける。

10月末に首里城（沖縄県）で火災があり、防火対策も課題の一つ。大洲城では宿泊者に禁煙を徹底し、宿泊時は夜間に常駐のスタッフが見回るといふ。

市の村中元・観光まちづくり課専門員は「城や城下町を残すことが一番。人口減少が進んだときに維持費を確保するには、文化財の活用を幅を広げるチャレンジをしないといけない」と話す。キャッスルステイは来年4月をめどに開始予定。

（照井琢見）

全国初 木造天守で宿泊事業

実証実験では、城主の加藤員泰が入城する場面を再現した



愛媛・大洲市

城主体験 観光の呼び水に

来春のオープンめざして実証実験

歴史的文化遺産を活用して観光客を呼び込もうと、愛媛県大洲市は来年4月から、大洲城の天守に泊まって城主気分を満喫してもらう「キャッスルステイ」(CS)の実施を予定している。同市はこのほど、安全性の確認や地域住民の理解を得るための実証実験を行った。これには、同市の観光大使を務める演歌歌手の伍代夏子さんが招待されたほか、観光振興策について定例会で要望してきた公明党の柳田和美市議が参加した。木造天守での宿泊事業は全国初の試みで、注目を集めている。

歴史遺産で地域活性化

増収分を文化財の修繕に充当

大洲市は、「伊予の小京都」と呼ばれ、武家屋敷や明治時代に建てられたレンガ造りの建物など情緒ある古い町並みが残っている。その中心となる大洲城は、鎌倉時代に築城され、江戸時代に藩主高松氏によって

今の形に整備された。天守は1888年に取り壊されたが、2004年に4層4階の木造建築として復元され、江戸時代から残る台所・櫓や高欄櫓は、国の重要文化財に指定されている。

市は、こうした貴重な文化財を活用した町づくりを進めるため、市長や学芸員などで組織する歴史体験検討委員会を今年5月に設置。観光客に特別な体験を提供することで市の認知度をアップを図り、得た収入を文化財の修繕に使う計画



宿泊する天守1階で大洲城の縄張り説明を受ける伍代さん(右から2人目)と柳田市議(同4人目)

で、CSはその目玉となる取り組み。今回の実験では、1617年頃に城主となる加藤員泰が鳥取県の米子から移ってきた場面を再現し、真泰役の職員が白馬に乗って入城。市民による「大洲藩鉄砲隊」が祝砲で歓迎した。また、寝室となる天守1階を視察したほか、2階までが吹き抜けになっている珍しい構造や、江戸時代の城の縄張りなどの説明が行われた。さらに、地元の伝統芸能鑑賞や、宿泊の際に提供される瀬戸内の食材を生かした夕食が振る舞われた。また、職員らが実際に天守に宿泊して城内の防犯や安全性を点検するため、避難経路や夜中にトイレに行くまでの照明の明るさ、防犯カメラの位置などの確認を行った。

同市は今回の実験を踏まえて、12月に開かれる検討委員会でも来年4月のオープンに向け、具体的な議論を進めることにしており、早ければ来年1月から予約を受け付ける見込み。運営は民間会社に委託するが、計画では、一般の見学が終わる午後5時から翌朝の午前9時までの時間を利用し、春と秋を中心に年間約30日間の宿泊を予定。1日1組の限定で、宿泊料を1泊100万円以上に設定している。すでに予約の問い合わせがあるなど、反響が寄せられている。

市観光まちづくり課の村中元係長は、「城をホテルに改造するのではなく、歴史的な体験を提供する事業。文化財の魅力を最大限に生かして地域経済の活性化につなげたい」と話していた。

②テレビ放送

- ・フジテレビ 12月5日放送「とくダネ！」
- ・NHK松山 11月9日放送「おはようニッポン」
11月13日放送「ひめぽん」
- ・その他、各局ニュース

9 実証実験に係る事業費

5,000千円（国2分の1 内閣府：地方創生推進交付金）

- ・実証実験実施
- ・実施計画作成 等

10 運用開始について

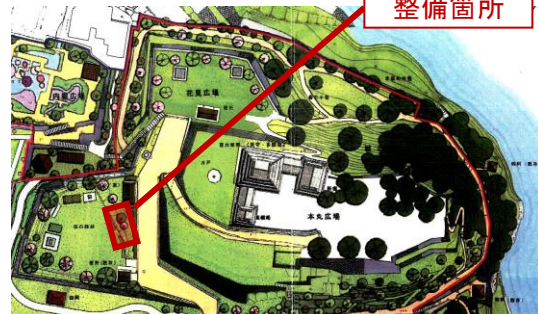
実証実験を経て、価格設定、コンテンツのブラッシュアップ、問題点の改善、諸準備等を行った上で、本格運用を開始することとしています。運用は民間事業者が行うこととします。開始時期は、2020年4月以降を予定しています。

順調に運用が開始されれば、通年型の木造天守での宿泊体験事業は日本初となります。

- | | |
|----------|--|
| (1) 開始時期 | 2020年4月以降（予定） |
| (2) 運用主体 | オペレーション： バリューマネジメント(株)
VMG HOTELS & UNIQUE VENUES
地域DMO： 一般社団法人キタ・マネジメント |
| (3) 金額想定 | 1日1組限定・金額は100万円以上となる見込みです。
（その一部が文化財等の保全に役立てられる仕組み） |
| (4) 運営時期 | 春・秋の期間を中心に年間30日程度 |
| (5) 運用時間 | 一般公開が終了する17時から翌朝9時まで |
| (6) 民間投資 | 民間事業者により、カフェレスト及び浴室空間が
二の丸に整備中。（2020年3月に完成予定） |



▲ カフェレスト空間（イメージ）



▲ 城山公園 配置図

1 1 城下町分散型ホテルについて

本市では、観光振興施策において、市観光まちづくり戦略ビジョン（素案）を策定し、「地域の文化を未来へとつなぐ」を基本理念に、歴史、文化、自然、風土など本市の地域固有の資源を保全し、かつ民間事業者との協働により新たな価値を創造し、また価値を高め、地域資源を徹底して観光まちづくりに生かすことで、地域に産業を根付かせ、地域経済の発展に寄与していくこととしています。

本市観光の中心部である大洲城下町には、大洲城、臥龍山荘をはじめとした歴史的資源が多数ありますが、近年、城下町を形成する町家・古民家等の取り壊し、更地化が急速に進み、その魅力が著しく低下しています。そのため、町並み保全を目的とした「町家・古民家等の歴史的資源を活用した観光まちづくり」が急務となっています。

すべての経費を税金でまかなっていくことは困難であるため、将来の人口減少期にも持続可能となるよう、行政と民間事業者が連携し宿泊施設をはじめとした観光ビジネスに活用できるようリノベーションし、事業者が参入しやすい環境を整えてまいります。

これまで所有者の方々では解決のできなかった町家・古民家等の有効活用が図られ、所有者の方々にとっても、町並みを残していく経済的価値が生じていくこととなります。

また、まちにホテルや飲食店、ショップ等が誕生していくことで、賑わいもたらされ、昔の城下町のような活気がよみがえることが期待できます。



▲ 城下町の町並み



▲ 城下町 分散型ホテル整備（2019 年度） 「NIPPONIA 大洲 城下町」

1 2 大洲城について

大洲城は、藤堂高虎、脇坂安治らにより造られた近世城郭です。天守は惜しくも明治期に取り壊されてしまいましたが、2004（H16）年に木造で復元されました。

平成の復元事業では、明治期の写真数点と当時の木組模型、そして発掘調査で出土した天守礎石などをもとに非常に精度の高い木造復元がなされました。同時に、第三者機関により構造上の安全性、防災上の安全性が評価されています。

建物内部は、木曽桧など国産の大きな木材が使用され、その迫力ある木組みには定評があります。また、江戸期の二つの重要文化財櫓と連結していることも特徴です。そのような文化的価値、建物の安全性を生かしつつ、往時の城主の出来事などを再現し、体感・体験できる滞在空間の提供が「大洲城での城主体験」です。



▲ 明治時代の写真



▲天守閣復元事業 建て方工事の様子

建築規模

構造・規模 木造 4 層 4 階							
各部の高さ							
最高軒高	16.362m						
最高高さ	19.150m						
床面積表（単位：㎡）							
階	復元部分			既存部分			各階合計
	天守	多聞	小計	台所櫓	高欄櫓	小計	
1 階	162.90	82.55	245.45	93.54	35.26	128.80	374.25
2 階	109.88		109.88	58.38	19.43	77.81	187.69
3 階	67.20		67.20				67.20
4 階	38.55		38.55				38.55
合計	378.53	82.55	461.08	151.92	54.69	206.61	667.69

1 3 官民連携事業について

本事業は、2018 年 4 月に締結した「愛媛県大洲市の町家・古民家等の歴史的資源を活用した観光まちづくり連携協定」に基づく、バリューマネジメント(株)、一般社団法人キタ・マネジメントなどとの官民連携事業です。

オペレーションを担うのは、全国で歴史的建造物を活用し、ホテル・レストランを運営するバリューマネジメント(株)です。G20 大阪サミット晩餐会で世界の要人を迎え入れた実績など、コンセプトである「まだ見ぬ時と出会う場所」を提供します。

バリューマネジメント(株)  VALUE MANAGEMENT	名 称	バリューマネジメント株式会社
	所 在 地	大阪府大阪市北区大深町 4-20 グランフロント大阪タワー A17F
	代 表 者	代表取締役 他力野 淳（たりきの じゅん）



▲ 連携協定の様子（2018 年 4 月）

1 4 実証実験に係る問い合わせ先

- | | |
|------------------|-----------------|
| ■大洲市観光まちづくり課 | 電話 0893-24-1717 |
| ■一般社団法人キタ・マネジメント | 電話 0893-24-7060 |
| ■バリューマネジメント株式会社 | 電話 06-6371-2700 |